

A……05
天智天皇山科陵(参道)
ヒノキ



御陵上御廟野町

高さ 19.5m 幹周 2.00m

ひのき科 / 常緑高木

ヒノキは参道の中程にあります。背が高く、スギなどと一体となって森をつくっています。

A……06

天智天皇
山科陵(参道)
アカマツ

御陵上御廟野町

高さ 7.6m

幹周 1.70m

まつ科 / 常緑高木



大津京で没した天皇は、大津京に近い山科に葬られました。このアカマツは三条通からも見える位置にあります。力強いその姿は、参道の入口の風景を引き締めています。

A……07

東山自然緑地
ヤマザクラ



御陵田山町

高さ 12.0m

幹周 2.90m

ばら科 / 落葉高木

琵琶湖疏水の建設は、東京遷都の後の京都に活力を取り戻すための施策の一つとして行われました。水力発電所などが建設され、その水力を利用して新しい産業が興り、京都は活気を取り戻したのです。これらのヤマザクラは、大きさから推定して、その時代に植樹されたようです。

ヤマザクラ

ばら科

京都近郊の山林に自生しています。花と葉が同時に開き、花数はソメイヨシノにくらべて少ないのですが、紅色の新葉がきれいです。幹は直立して大きな木になり、病害虫にも比較的強く、長寿です。

